

秋の全国交通安全運動

9月21日(金)～30日(日)

本庄市重点目標 **早めのライト点灯と高齢歩行者の交通事故防止**

★危機管理課 ☎ 1184
総務課 ☎ 1332

交通事故死者の半分以上が高齢者

9月21日(金)から始まる秋の全国交通安全運動。昨年、埼玉県内では、人身事故が26、276件発生し、内177人の方がお亡くなりになりました(全国ワースト2位)。また、交通事故死者の53・7%が高齢者となり、県は今年、秋の全国交通安全運動で「高齢者の交通事故防止」を重点目標としています。

事故負傷者の約2割が高齢者

今年7月末までに本庄警察管内と児玉警察署管内で発生した人身事故の負傷者458人のうち約2割にあたる81人が高齢者でした。また、本庄市は昨年、高齢者人口1、000人当たりの交通事故死者数が4・63人で県内ワースト4位でした。

3つのHで事故防止

県内の高齢者交通事故死亡事故のうち、最も多いのが歩行者が関係する事故です。本庄市や警察では、高齢歩行者等の安全確保をするために「早めのライト点灯」「反射材の着用」「歩行者保護」の3つを行う「きらめき3H(トリプルエイチ)運動」を推進しています。

今日から始めよう きらめき3H運動

早めのライト点灯

県内の高齢歩行者の交通事故死者の3分の2が夜間に発生しています。市内でも、夜間に自動車と高齢歩行者の重傷事故が発生しており、事故は身近な所でも起きています。ライトの点灯は、歩行者をいち早く発見するだけではなく、車や自転車の存在を周囲に知らせます。運転する時は、早

めのライト点灯を心がけましょう。

反射材の着用

周りが暗くなると、車のライトが点いていても、運転手から歩行者が見えていないとは限りません。運転手に気づいてもらうために、反射材を身につけ、自分を目立たせましょう。

歩行者保護

道路を渡る時は、横断歩道を渡りましょう。また、横断歩道は歩行者が優先です。運転手は横断歩道を渡るうとしていない人がいたら、必ず止まり、交差点を曲がる時は、歩行者の有無を確認しましょう。

きらめき3H運動



事故防止ポイント

- ・子どもや高齢者に配慮した優しい運転を心がけましょう。
- ・全席でシートベルト&チャイルドシート着用を徹底しましょう。
- ・飲酒運転は絶対しない!させない!

※9月21日(金)は、飲酒運転根絶の日です。また、9月30日(日)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

自転車も車の仲間、ルールを守って安全運転を

高齢者の交通死亡事故で2番目に多いのが自転車の事故です。自転車は、道路交通法で軽車両に位置づけられています。自転車に乗る時も安全な運転を心がけ、「きらめき3H運動」を意識して、交通ルールやマナーを守りましょう。

本庄東小学校 第52回交通安全子供自転車埼玉県大会 念願の優勝 全国大会でも健闘

6月30日、彩の国くまがやドームで第52回交通安全子供自転車埼玉県大会が開催されました。大会では、標識や交通ルールに関する学科テストと、安全走行や技能走行を評価する実技テストが行われ、過去3年連続準優勝の本庄東小学校が念願の団体優勝に輝きました。

また、個人においても清水日乃さんが優勝、坂上七海さんが準優勝、飯塚心美さんが4位入賞、須田紫織さんが5位入賞を果たしました。優勝した本庄東小学校は埼玉県代表として、8月8日に東京ビッグサイ



トで開催された全国大会に出場。夏休み期間中も毎日午前8時30分から午後1時まで走行練習や大会のテスト対策に取り組み、全国大会では出場した47チームのうち上位の成績を収めました。

①第52回交通安全子供自転車埼玉県大会で団体、個人ともに優勝②全国大会の技術走行テストで練習の成果を披露③全国大会に向けて走行技術を磨く選手④全国大会が開催された東京ビッグサイトで健闘した選手たち



秋の全国交通安全運動

本庄地域 出陣式

- 日時 9月22日(土) 午前10時～正午
- ※雨天の場合は式典のみ市役所1階市民ホールで行います。
- 場所 市役所前庭駐車場
- 内容 自転車走行披露(本庄東小学校)、本庄駅入口交差点で街頭啓発(花の苗・交通安全啓発グッズの配布)

★危機管理課 ☎ 1184

児玉地域 出発式

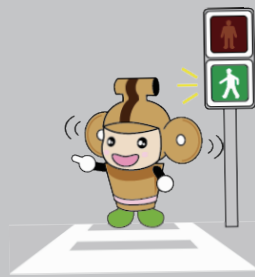
- 日時 9月21日(金) (雨天中止) 午前9時～9時45分
- 場所 フレッセイ児玉店駐車場
- 内容 パラバルーン演技(児玉保育園)、フラダンス披露(アロハ・ヌイ)、白バイ・パトカー展示、長浜町交差点で街頭啓発(花の苗・交通安全啓発グッズの配布)

★児玉警察署 ☎ 0110

交通安全 ニュース

市内には早稲田の杜地区など、歩車分離式信号機が設置されています。

この信号機は、交差点内で車両と歩行者が交わらないように制御された信号機で、歩行者の安全を最優先にするものです。ただし、歩行者用信号機が青色になった時点で、見切り発車してしまう車両があるので、歩行者は注意が必要です。



歩車分離式信号機のある交差点での注意

- ドライバーは進行方向の車両用信号機の青色を確認して通行しましょう。
- 歩行者は歩行者用信号機が青色になってから左右を確認して渡りましょう。

※本庄市は7月末時点で人口1,000人当たりの人身交通事故発生件数2.76件で県内ワースト3位。